



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

2020年度 業務報告会

相互運用性委員会 活動報告

2021年2月5日
相互運用性委員会
委員長 木村 雅彦

- 今年度の事業計画
- 今年度の活動成果
 - (1)JAHIS標準類の策定
 - (2)実装システムの検証
 - (3)標準化の普及推進
- 来年度の実業計画

(1) JAHIS標準類の策定

- データ交換規約の共通課題に取り組み、その結果をデータ交換規約(共通編)や必要に応じて個別編に反映する。(適合宣言書対応など)
- 既存の標準類については、制定後3年経過を目途に改版を行い、より実践的なものにすべく機能拡張を図っていく。(生理検査、放射線、内視鏡など)
- これまで十分な検討がされていない新たなテーマや技術標準については、部会や委員会を超えて合同で検討を行う。(HL7 FHIR、クリニカルパスなど)

(2) 実装システムの検証

- 過去14年間(実証事業の3年間を含む)行ってきたJAHISデータ互換性実証実験を継続し、参照するデータ交換規約や基本データセット適用GLへ反映する
- 各種ツールの整備やテーマの拡大も図る。(HL7 FHIRやUTF-8対応など)

(3) 標準化の普及推進

- 他の標準化プロジェクトや団体で策定された標準類との整合を図りながら、関係者と密接に連携して普及活動を行う。セミナー(講習会)等も企画する。

① データ交換規約(共通編) Ver.1.2

HL7V2.5ベースの各種データ交換規約の共通的な仕様を取りまとめたJAHIS標準で、データ交換規約の共通課題であるHL7のバージョン、文字コード、MLLP(Minimal Lower Layer Protocol)の不採用、などについての記述の明確化、患者プロフィール項目の共通化、日本語訳の見直し、などを行い、2020年4月にJAHIS標準として**制定済**

～ 策定作業中 ～

① データ交換規約（共通編） Ver.1.3

適合宣言書に基づく適合性の採用、HL7規格日本語見直し版への対応、コード表へのOIDの付番、被保険者証の枝番への対応、各種障害の重症度表現への対応、などを行い、年度内にJAHIS標準として**原案完成予定**

② 放射線データ交換規約 Ver.3.2C

③ 内視鏡データ交換規約 Ver.3.2C

④ 生理検査データ交換規約 Ver.3.1C

制定後3年を経過したため、データ交換規約（共通編）Ver.1.3への対応、HL7規格日本語見直し版への対応、コード表へのOIDの付番、などを行い、年度内にJAHIS標準として**原案完成予定**

データ交換規約（共通編）Ver.1.3の主な改版内容（予定）

1. 適合宣言書に基づく適合性の採用

- 従来データ交換規約への適用性は0か1だったが、適合宣言書を記述することで、部分的な適合性を宣言できるようになる
- DICOMのConformance Statementを簡略化したような所定のフォームで、メッセージ単位での対応/非対応を記載する

2. HL7規格日本語見直し版への対応

- 昨年日本HL7協会から公開されたHL7 V2.5翻訳見直し版の訳語に合わせる
- 一律でCWE型に置換していたデータ型は原文に忠実に合わせる

3. コード表へのOIDの付番

- HL7 FHIRなどでの利用に備え、JAHISで定義したコード表にOIDを付番する
- 共通編と個別編で統一したOID体系とする

データ交換規約（共通編） Ver.1.3の主な改版内容（つづき）

4. 被保険者証の枝番への対応

- 被保険者証の個人番号化（いわゆる「枝番」）に備え、IN1-10の繰り返しにより、被保険者証の記号、番号、枝番を記述できるようにする
例: IN1|1|...|456~235275~01|
- SS-MIX2 Ver.1.2g (昨年12/25付公開)と仕様上の整合性を取る

5. 各種障害の重症度表現への対応

- Ver.1.2で誤って「あり」「なし」の表現しかできないような記述になってしまったため、**使用者定義表0421**を使用して**重症度**が表現できるように訂正する
例: OBX|1|01^意識障害^JHSC0005||SE^重症度^HL70421|...

使用者定義表 0421 - Severity of Illness Code 疾病の重症度コード
(コーディングシステム名: HL70421)

Value	Description
MI	軽度
MO	中度
SE	重度

～ 実施予定 ～

15年目

JAHISデータ互換性実証実験2020

- 実施期間: 2021年2月15日(月)～ 19日(金)
- 実施場所: 完全リモート開催
- 実施テーマ: ※昨年と同じ

- ①患者情報(基本、アレルギー)
- ②処方情報(依頼、実施)
- ③注射情報(依頼、実施)

- 参加予定会社:

三栄メディシス(株)、(株)ソフトウェア・サービス、日本電気(株)、日本アイ・ビー・エム(株)、(株)日立製作所、富士通(株)

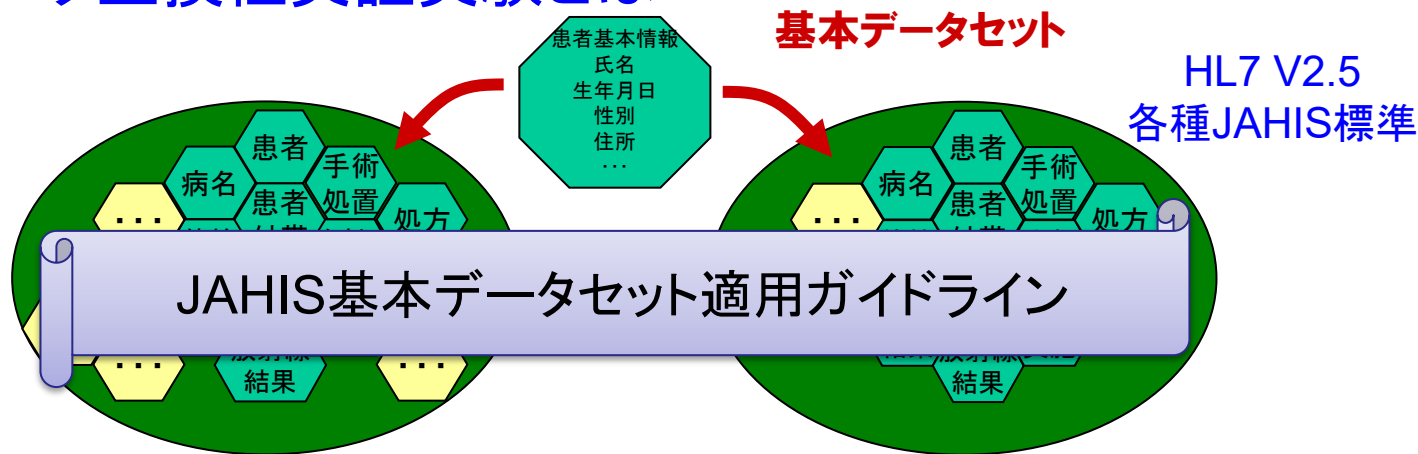
- レポート掲載予定:

トップ » 活動と報告 » 実証実験・ツール » 実施結果 » 2020年実施結果



※写真は昨年度の様子

JAHISデータ互換性実証実験とは



A社



エクスポート
データの抽出

HL7メッセージ

```
RXE||23022097^ジブラール軟膏 5g/本
^99ZL3^106238001^ジブラール軟膏 0.05%
^HOT2||08^本^99ZL4^HON^本^99SM9|209^塗布薬
^99ZL8^OIT^軟膏^99SM9|||2|08^本^99ZL4^HON^
本^99SM9...
TQ1|||820926_____4.00&(塗布薬) 1日4回,左手
&99ZL2~QID&1日4回&HL70335|||20091017
...
```

GLに準拠した正しいメッセージか？

正しく抽出できたか？

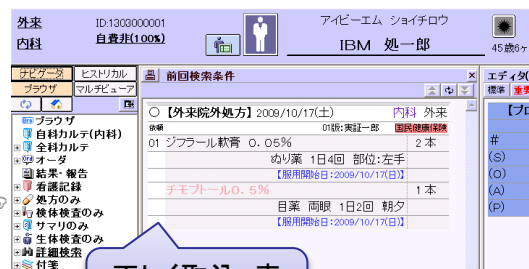
B社



データの取込・表示

インポート

C社



正しく取込・表示できたか？

今年度実証実験の主な課題・トピック

- データ交換規約(共通編)Ver.1.2に基づき、**UTF-8**でのデータ交換の実施
- 審査支援システムの**クラウド化**と**完全リモート**での開催
 - ◆ 審査支援システムをインターネット上のVPSに構築
 - ◆ 参加ベンダのオフィスや自宅から審査支援システムにアクセス
 - ◆ IP電話(Skype)で画面・音声を共有して審査を実施

**JAHIS
実証実験
2019**

ユーザー名:
IBM木村

ログオフ

メニュー

- 1. パスワード変更
- 2. 審査依頼
- 3. 対戦表
- 4. ジョブ一覧
- 5. アップロード
- 6. ダウンロード
- 7. 参考資料

Copyright JAHIS実証実験WG

審査依頼(審査員用)

テーマ: **すべて**

シナリオ: **すべて**

依頼会社: **すべて**

審査員: **すべて**

審査状況: **すべて**

☐ 前日までの審査分も表示

表示

リセット

依頼会社	テーマ	シナリオ	Exp/Imp	Exp会社	依頼日時	状況	開始日時	終了日時	コメント	Up/Down				
13:IBM	03:処方	01:シナリオ1	Imp	12:NEC	10/09 09:02	依頼中			0件	DN UP	削除	割当	開始	審査表
12:NEC	04:注射	01:シナリオ1	Exp チャク	-	10/09 10:56	保留(山口)	10/09 15:50		2件(10/09 16:09)	DN		割当	再開	審査表
12:NEC	04:注射	02:シナリオ2	Exp チャク	-	10/09 11:01	依頼中			0件	DN		割当	開始	審査表
18:三栄	01:患者	01:シナリオ1	Exp チャク	-	10/09 11:15	審査中(山田)	10/09 16:14		4件(10/09 16:53)	DN		割当		審査表
15:SSI	03:処方	02:シナリオ2	Exp チャク	-	10/09 12:52	審査中(中田)	10/09 15:24		3件(10/09 16:52)	DN		割当		審査表



※画面・写真は昨年度の様子

- ① 日本医療情報学会(標準策定・維持管理部会)、SS-MIX普及推進コンソーシアム、日本HL7協会、日本IHE協会等との連携
 - SS-MIX2の仕様書やIHE-JのTF基本仕様へのデータ交換規約の採用
 - JAMI HL7 FHIR日本実装検討WGやその一環として厚労科研FHIRベース電子処方箋規格検討WG、ePath規格化WGへの委員派遣

- ② JAHISデータ互換性実証実験の成果や各種ツール類のHPでの公開
 - 1) JAHISデータ互換性実証実験の報告(2010～2019)
 - 2) HL7メッセージ作成支援ツール(Ver.1.2～Ver.1.9)
 - 3) HL7辞書ユーティリティ(Ver.1.0～Ver.1.2)公開場所: [トップ](#) » [活動と報告](#) » [実証実験・ツール](#) » ...

③「**薬剤に関する医療情報セミナー**」の開催(8年連続)

日時:2021年1月25日(金) 14:00~17:00

場所:WebEx Eventsを使用したオンラインセミナー

講師:土屋 文人 先生(前国際医療福祉大学 薬学部 特任教授)

池田 和之 先生(奈良県立医科大学附属病院 薬剤部)

題名:薬剤部門に関する最近の話題

ー変わりゆく薬剤師業務と情報システムの関わりー

④ その他の対外活動

◆ 第40回医療情報学連合大会:

共同企画11:保健医療福祉情報システム工業会／日本病院薬剤師会「**薬剤情報の連携のこれからと課題**」(11/22) 共同座長

(1) JAHIS標準類の策定

- データ交換規約の共通課題に取り組み、その結果をデータ交換規約(共通編)や必要に応じて個別編に反映する。(適合宣言書の拡張など)
- 既存の標準類については、制定後3年経過を目途に改版を行い、より実践的なものにすべく機能拡張を図っていく。(処方、注射、病名など)
- これまで十分な検討がされていない新たなテーマや技術標準については、部会や委員会を超えて合同で検討を行う。(HL7 FHIR、クリニカルパスなど)

(2) 実装システムの検証

- 過去15年間(実証事業の3年間を含む)行ってきたJAHISデータ互換性実証実験を継続し、HL7 FHIRを使用したテーマにチャレンジする(電子処方箋)
- 各種ツールの整備やテーマの拡大も図る。(HL7 FHIRやUTF-8対応など)

(3) 標準化の普及推進

- 他の標準化プロジェクトや団体で策定された標準類との整合を図りながら、関係者と密接に連携して普及活動を行う。セミナー(講習会)等も企画する。
- IHE International の国際会議に委員を派遣し、得られた知見をJAHIS 標準の改善、最新技術に基づく新たなJAHIS 標準類の制定などに役立てる。



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございました